



平成28年10月28日

各 位

会 社 名： 住江織物株式会社
代表者名： 取締役会長兼社長 吉川 一三
(コード番号：3501 東証第一部)
問合せ先： 執行役員経営企画室部長 新實 啓悦
(TEL 06-6251-6803)

(訂正)「平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年10月11日に開示いたしました「平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正の理由及び経緯につきましては、平成28年10月28日付過年度の決算短信および四半期決算短信の一部訂正に関するお知らせをご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月11日

東

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 飯田 均 (TEL) 06-6251-6803
 経営企画室部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日~平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	20,074	7.4	404	174.2	629	138.2	336	389.7
25年5月期第1四半期	18,688	18.5	147	—	264	—	68	—

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 513百万円(—%) 25年5月期第1四半期 △13百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	4.45	—
25年5月期第1四半期	0.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第1四半期	82,260	32,766	35.6
25年5月期	79,901	32,267	36.4

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 29,318百万円 25年5月期 29,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	2.50	—	3.50	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年5月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭 記念配当 1円00銭

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日~平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	7.2	1,060	15.5	1,350	24.9	850	37.4	11.26
通期	85,000	3.8	2,400	24.9	2,900	26.6	1,800	72.1	23.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年5月期1Q	76,821,626株	25年5月期	76,821,626株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期1Q	1,361,752株	25年5月期	1,361,150株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年5月期1Q	75,460,183株	25年5月期1Q	75,546,037株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、アベノミクスによる経済対策効果から企業業績の回復と雇用環境の改善が見られました。しかしながら製造業の設備投資はいまだ慎重さが見られ、個人消費も一部高級ゾーンを除いては伸び悩みました。海外では、長期化する欧州債務問題や、新興国の成長鈍化など、景気の下振れ懸念が依然としてくすぶり続けております。

このようななか、当第1四半期における連結業績は、売上高200億74百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益4億4百万円（同174.2%増）、経常利益6億29百万円（同138.2%増）、四半期純利益3億36百万円（前年同期 四半期純利益68百万円）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、発売3年目となる循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」が高い評価を得て順調に売上高を伸ばし、物件の受注が増加したことから売上高は前年同期を上回りました。一般家庭向けカーペット、ラグマットは、個人消費の伸び悩みに加え、今夏の異常高温現象も需要に影響し、売上高は前年同期を下回りました。カーテンでは、主力の「mode-S（モードエス）Vol.6」や、「Face」、「ディズニーシリーズ」が好調に売上高を伸ばした結果、売上高は前年同期を上回りました。壁紙では、「ルノンホーム1000」や「リフォームプロ」、量産タイプの「マークII」を中心に拡販に努め、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高79億31百万円（前年同期比3.7%増）、営業損失1億30百万円（前年同期 営業損失1億68百万円）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、前年同期比で大きく増収増益となりました。カーペット事業は、国内は円安効果により自動車輸出が好調に推移し、海外では、米国の日系自動車メーカーの生産増加を受け、受注増となったこと等から、売上高、営業利益ともに前年同期を大きく上回りました。ファブリック事業は、国内は前年同期に比べ伸び悩みましたが、米国および中国で好調に推移したため、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

鉄道関連では、前年同期に貢献した私鉄の大型リニューアル案件が完了したものの、JRや私鉄でシート張替え工事が好調に推移しており、売上高、営業利益ともに前年同期並みとなりました。

バス向けは、大型バスの生産は好調に推移しているものの、マイクロバスの生産が落ち込んだため、前年同期並みとなりました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高115億32百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益8億89百万円（同33.8%増）となり、前年同期を上回りました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは、省エネ家電として評価され好調が続いておりましたが、需要に一服感が出て生産台数が減少し、また、円安によるコストアップも影響したため、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。航空機向けカーペットは需要回復により売上増となりました。フィルター・消臭関連および土木資材関連は、前年同期並みに推移しました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高5億83百万円（前年同期比13.2%減）、営業損失28百万円（前年同期 営業損失30百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加や季節的要因によるたな卸資産の増加等により前連結会計年度末に比べ23億58百万円増加し822億60百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ18億59百万円増加し494億93百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ4億99百万円増加し327億66百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内景気は緩やかな回復を続けておりますが、内需に今ひとつ弾みがついておらず、海外でも、新興国の景気減速や長期化する欧州債務問題等、景気下振れ懸念が続いております。以上のような状況を踏まえ、平成25年7月12日に発表した第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,403	6,876
受取手形及び売掛金	20,314	21,157
有価証券	275	275
商品及び製品	7,947	9,197
仕掛品	1,448	1,512
原材料及び貯蔵品	2,532	2,834
その他	3,616	4,020
貸倒引当金	△31	△31
流動資産合計	43,500	45,842
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,842	17,846
その他(純額)	9,089	9,249
有形固定資産合計	26,932	27,095
無形固定資産		
422		407
投資その他の資産		
その他	9,207	9,076
貸倒引当金	△160	△161
投資その他の資産合計	9,046	8,914
固定資産合計	36,401	36,417
資産合計	79,901	82,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,501	18,888
短期借入金	10,526	11,035
未払法人税等	383	112
その他	4,197	4,193
流動負債合計	31,608	34,229
固定負債		
長期借入金	4,957	4,560
退職給付引当金	3,796	3,612
役員退職慰労引当金	326	232
負ののれん	133	110
その他	6,812	6,747
固定負債合計	16,025	15,263
負債合計	47,634	49,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,746	7,893
自己株式	△355	△355
株主資本合計	19,597	19,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,973	1,928
繰延ヘッジ損益	34	2
土地再評価差額金	7,532	7,532
為替換算調整勘定	△50	110
その他の包括利益累計額合計	9,490	9,574
少数株主持分	3,180	3,447
純資産合計	32,267	32,766
負債純資産合計	79,901	82,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	18,688	20,074
売上原価	14,753	15,782
売上総利益	3,934	4,291
販売費及び一般管理費	3,787	3,887
営業利益	147	404
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	42	48
負ののれん償却額	22	22
持分法による投資利益	—	66
不動産賃貸料	58	62
その他	79	109
営業外収益合計	207	315
営業外費用		
支払利息	56	60
持分法による投資損失	5	—
不動産賃貸費用	11	11
その他	16	18
営業外費用合計	90	90
経常利益	264	629
特別利益		
固定資産売却益	1	—
災害に伴う受取保険金	169	—
特別利益合計	170	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
災害による損失	262	—
特別損失合計	266	0
税金等調整前四半期純利益	168	629
法人税、住民税及び事業税	110	124
法人税等調整額	△33	65
法人税等合計	77	189
少数株主損益調整前四半期純利益	90	438
少数株主利益	22	102
四半期純利益	68	336

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 6 月 1 日 至 平成24年 8 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 6 月 1 日 至 平成25年 8 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	90	438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	△44
繰延ヘッジ損益	△3	△38
土地再評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	△196	148
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	8
その他の包括利益合計	△103	75
四半期包括利益	△13	513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17	420
少数株主に係る四半期包括利益	△30	93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,646	<u>10,347</u>	671	<u>18,664</u>	23	<u>18,688</u>	—	<u>18,688</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	0	10	129	69	198	△198	—
計	7,764	<u>10,347</u>	682	<u>18,794</u>	92	<u>18,886</u>	△198	<u>18,688</u>
セグメント利益 又は損失(△)	△168	<u>664</u>	△30	<u>466</u>	8	<u>474</u>	△327	<u>147</u>

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△327百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△333百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,931	<u>11,532</u>	583	<u>20,046</u>	28	<u>20,074</u>	—	<u>20,074</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	1	7	127	81	209	△209	—
計	8,050	<u>11,533</u>	590	<u>20,174</u>	109	<u>20,283</u>	△209	<u>20,074</u>
セグメント利益 又は損失(△)	△130	<u>889</u>	△28	<u>730</u>	11	<u>742</u>	△338	<u>404</u>

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△338百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正前)



平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月11日

東

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所
 コード番号 3501 URL <http://suminoe.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営企画室部長 (氏名) 飯田 均 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	20,044	7.3	399	300.2	624	188.3	332	—
25年5月期第1四半期	18,677	18.4	99	—	216	—	20	—

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 521百万円(—%) 25年5月期第1四半期 △74百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	4.41	—
25年5月期第1四半期	0.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第1四半期	82,474	33,010	35.8
25年5月期	80,090	32,503	36.6

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 29,562百万円 25年5月期 29,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	2.50	—	2.50	5.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	2.50	—	3.50	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年5月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 2円50銭 記念配当 1円00銭

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,000	7.2	1,060	14.7	1,350	24.2	850	36.0	11.26
通期	85,000	3.8	2,400	16.7	2,900	19.5	1,800	119.4	23.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年5月期1Q	76,821,626株	25年5月期	76,821,626株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期1Q	1,361,752株	25年5月期	1,361,150株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年5月期1Q	75,460,183株	25年5月期1Q	75,546,037株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、アベノミクスによる経済対策効果から企業業績の回復と雇用環境の改善が見られました。しかしながら製造業の設備投資はいまだ慎重さが見られ、個人消費も一部高級ゾーンを除いては伸び悩みました。海外では、長期化する欧州債務問題や、新興国の成長鈍化など、景気の下振れ懸念が依然としてくすぶり続けております。

このようななか、当第1四半期における連結業績は、売上高200億44百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益3億99百万円（同300.2%増）、経常利益6億24百万円（同188.3%増）、四半期純利益3億32百万円（前年同期 四半期純利益20百万円）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

オフィスビルや商業施設、ホテル向けの業務用カーペットは、発売3年目となる循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS（エコス）」が高い評価を得て順調に売上高を伸ばし、物件の受注が増加したことから売上高は前年同期を上回りました。一般家庭向けカーペット、ラグマットは、個人消費の伸び悩みに加え、今夏の異常高温現象も需要に影響し、売上高は前年同期を下回りました。カーテンでは、主力の「mode-S（モードエス）Vol.6」や、「Face」、「ディズニーシリーズ」が好調に売上高を伸ばした結果、売上高は前年同期を上回りました。壁紙では、「ルノンホーム1000」や「リフォームプロ」、量産タイプの「マークII」を中心に拡販に努め、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高79億31百万円（前年同期比3.7%増）、営業損失1億30百万円（前年同期 営業損失1億68百万円）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、前年同期比で大きく増収増益となりました。カーペット事業は、国内は円安効果により自動車輸出が好調に推移し、海外では、米国の日系自動車メーカーの生産増加を受け、受注増となったこと等から、売上高、営業利益ともに前年同期を大きく上回りました。ファブリック事業は、国内は前年同期に比べ伸び悩みましたが、米国および中国で好調に推移したため、売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

鉄道関連では、前年同期に貢献した私鉄の大型リニューアル案件が完了したものの、JRや私鉄でシート張替え工事が好調に推移しており、売上高、営業利益ともに前年同期並みとなりました。

バス向けは、大型バスの生産は好調に推移しているものの、マイクロバスの生産が落ち込んだため、前年同期並みとなりました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高115億2百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益8億84百万円（同43.3%増）となり、前年同期を上回りました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは、省エネ家電として評価され好調が続いておりましたが、需要に一服感が出て生産台数が減少し、また、円安によるコストアップも影響したため、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。航空機向けカーペットは需要回復により売上増となりました。フィルター・消臭関連および土木資材関連は、前年同期並みに推移しました。

以上の結果、機能資材事業では、売上高5億83百万円（前年同期比13.2%減）、営業損失28百万円（前年同期 営業損失30百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加や季節的要因によるたな卸資産の増加等により前連結会計年度末に比べ23億83百万円増加し824億74百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加等により、前連結会計年度末に比べ18億75百万円増加し494億63百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ5億7百万円増加し330億10百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

国内景気は緩やかな回復を続けておりますが、内需に今ひとつ弾みがついておらず、海外でも、新興国の景気減速や長期化する欧州債務問題等、景気下振れ懸念が続いております。以上のような状況を踏まえ、平成25年7月12日に発表した第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,403	6,876
受取手形及び売掛金	<u>20,350</u>	<u>21,221</u>
有価証券	275	275
商品及び製品	<u>8,015</u>	<u>9,300</u>
仕掛品	<u>1,530</u>	<u>1,600</u>
原材料及び貯蔵品	<u>2,581</u>	<u>2,901</u>
その他	<u>3,616</u>	<u>3,964</u>
貸倒引当金	△31	△31
流動資産合計	<u>43,740</u>	<u>46,107</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,842	17,846
その他(純額)	9,089	9,249
有形固定資産合計	26,932	27,095
無形固定資産		
	422	407
投資その他の資産		
その他	<u>9,157</u>	<u>9,025</u>
貸倒引当金	△160	△161
投資その他の資産合計	<u>8,996</u>	<u>8,863</u>
固定資産合計	<u>36,350</u>	<u>36,366</u>
資産合計	<u>80,090</u>	<u>82,474</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,487	18,873
短期借入金	10,526	11,035
未払法人税等	383	112
その他	4,164	4,177
流動負債合計	31,561	34,199
固定負債		
長期借入金	4,957	4,560
退職給付引当金	3,796	3,612
役員退職慰労引当金	326	232
負ののれん	133	110
その他	6,812	6,747
固定負債合計	16,025	15,263
負債合計	47,587	49,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	7,923	8,067
自己株式	△355	△355
株主資本合計	19,774	19,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,973	1,928
繰延ヘッジ損益	34	2
土地再評価差額金	7,532	7,532
為替換算調整勘定	△50	110
その他の包括利益累計額合計	9,490	9,574
少数株主持分	3,180	3,447
純資産合計	32,267	32,766
負債純資産合計	79,901	82,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	18,677	20,044
売上原価	14,790	15,754
売上総利益	3,887	4,289
販売費及び一般管理費	3,787	3,890
営業利益	99	399
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	42	48
負ののれん償却額	22	22
持分法による投資利益	—	66
不動産賃貸料	58	62
その他	79	109
営業外収益合計	207	315
営業外費用		
支払利息	56	60
持分法による投資損失	5	—
不動産賃貸費用	11	11
その他	16	18
営業外費用合計	90	90
経常利益	216	624
特別利益		
固定資産売却益	1	—
災害に伴う受取保険金	169	—
特別利益合計	170	—
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
災害による損失	262	—
特別損失合計	266	0
税金等調整前四半期純利益	120	624
法人税、住民税及び事業税	110	124
法人税等調整額	△33	65
法人税等合計	77	189
少数株主損益調整前四半期純利益	43	435
少数株主利益	22	102
四半期純利益	20	332

四半期連結包括利益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 6 月 1 日 至 平成24年 8 月 31 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 6 月 1 日 至 平成25年 8 月 31 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	43	435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	△44
繰延ヘッジ損益	△3	△38
土地再評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	△210	160
持分法適用会社に対する持分相当額	1	8
その他の包括利益合計	△118	86
四半期包括利益	△74	521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44	428
少数株主に係る四半期包括利益	△30	93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,646	<u>10,336</u>	671	<u>18,654</u>	23	<u>18,677</u>	—	<u>18,677</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	0	10	129	69	198	△198	—
計	7,764	<u>10,336</u>	682	<u>18,783</u>	92	<u>18,876</u>	△198	<u>18,677</u>
セグメント利益 又は損失(△)	△168	<u>617</u>	△30	<u>418</u>	8	<u>426</u>	△327	<u>99</u>

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△327百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△333百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,931	<u>11,502</u>	583	<u>20,016</u>	28	<u>20,044</u>	—	<u>20,044</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	119	1	7	127	81	209	△209	—
計	8,050	<u>11,503</u>	590	<u>20,144</u>	109	<u>20,254</u>	△209	<u>20,044</u>
セグメント利益 又は損失(△)	△130	<u>884</u>	△28	<u>725</u>	11	<u>737</u>	△338	<u>399</u>

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△338百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。